



大震災の爪痕

相模川にかかるJR東海道本線のそばに、大正12年に起こった関東大震災の痕跡があります。

上の写真は震災当時の写真で、相模川にかかった東海道本線の、れんが積みの橋脚が崩れ落ちています。下の写真は現在の写真。関東大震災で崩れた橋脚が、川の中に今なお残っているのが見て取れます。



目次

1～4面…**特集** 関東大震災、その時…大正12年9月1日に起こった大正関東地震(関東大震災)。地学・歴史・民俗からみた地震の横顔を紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 〻0463-23-9467

●配布のお問合せは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



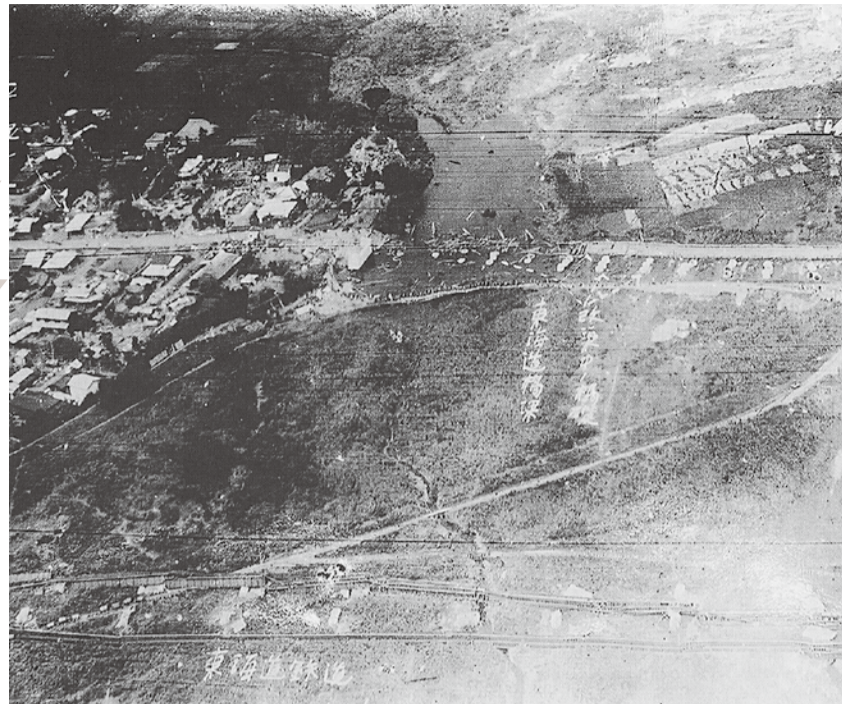
関東大震災、その時。

大正12年(1923年)9月1日の大正関東地震によって引き起こされた、関東大震災。全国で約10万5,000人以上が死亡・行方不明になるなど、大きな被害をもたらしました。地震の発生した9月1日が「防災の日」と定められたように、近代日本が災害対策を考える契機となった地震です。

今年、地震の発生から100年目。市博物館の学芸員が、地学・歴史・民俗の観点から、震災当時の平塚をひもときます。

☎ 博物館 ☎33-5111

相模川右岸地域の航空写真。橋が倒壊し、一時的に渡し船が使われた。



平塚周辺の地形は特異

いきなりぐらっときて、これは大きな地震だなど思ったら、そばにあった大きな砂利の山が波打ってるようなんです。で、気が付いてみたら、鉄橋がぼーんと落ちちゃったんですよ。あれにはびっくりしました。(相模川近くの畑にいた島津庄作さんの談。博物館の聞き取り調査記録より)

相模川で橋脚が崩れるなど、大きな被害をもたらした大正関東地震。野崎篤学芸員(右下写真)に、平塚周辺の地質の特徴を聞きました。

3つのプレートが沈み込み合う場所

地球の表面は十数枚のプレートで覆われて、動き続けています。陸のプレートの下には海のプレートが沈み込み、陸と海のプレートの境目には、海溝やトラフ(海溝よりも浅く幅が広い溝)ができます。平塚市がある本州の陸



平塚市のある南関東は3つのプレートの境界にあることから、日本の中でも最も地殻変動が激しい地域です。特に相模湾沿岸の一部は地面の隆起速度が世界有数で、例えば二宮町南部では縄文時代以降、1000年で約3層隆起しています。もう一つ、平塚



の部分にあたる北米プレートの下には、フィリピン海プレートと太平洋プレートが沈み込んでいます。北米プレートの下にフィリピン海プレートが沈み込んで

いる境界には、「相模トラフ」と呼ばれるトラフがあります。大正関東地震は相模トラフで起こったとされる地震で、再来周期は約200年〜400年と見られています。この地震で相模湾沿岸では、大磯丘陵周辺や三浦半島南部が1層以上も隆起しました。

相模湾沿岸の隆起速度は世界有数

大正関東地震と平塚の地盤

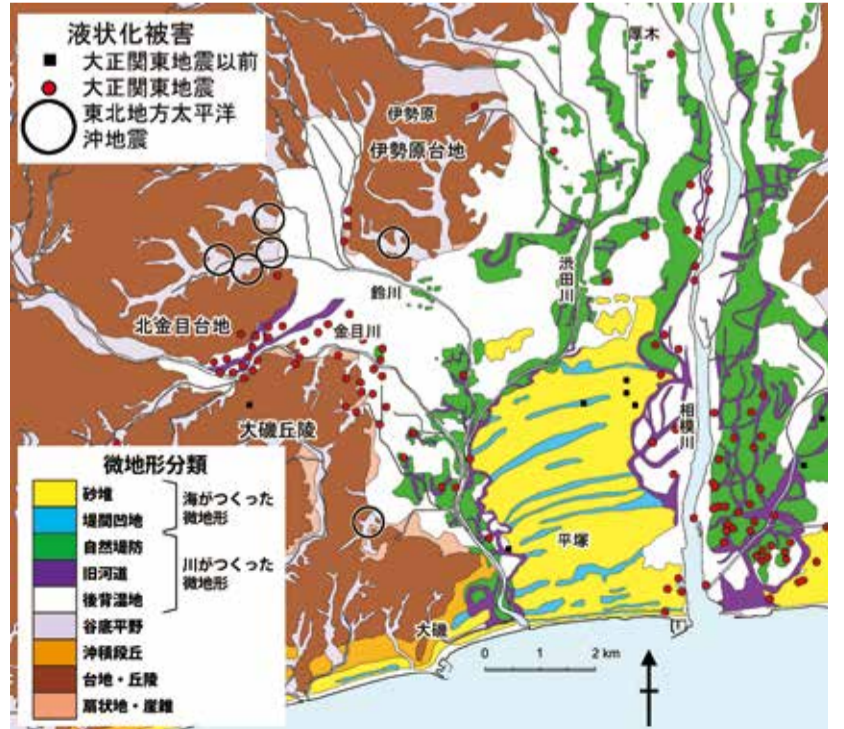
大正関東地震の被害の様子や、平塚周辺の地盤の成り立ち、災害のリスクを紹介します。8月31日(木)〜10月15日(日)。博物館1階寄贈品コーナー。

山・川・海が作った平塚の地形

大正関東地震では、液状化の被害が記録されています(右下図)。こうした地震の被害には、「足元の地面がいつどんな風にできたか、何からできているのか」が大きく関わります。

被害の一つである地割れは、固い岩盤の上でも弱い軟弱地盤でも、どこでも起こります。液状化は軟弱地盤が厚いところで起こりやすく、地すべり被害は谷底平野と台地・丘陵の縁で特に注意が必

要です。平塚市の地形を見ると、高い地形と平坦な地形の二種類に分けられます。小高い地形としては「丘陵・台地」が、平坦な地形としては「平野」があります。丘陵・台地は基本的に軟弱地盤が薄いですが、谷戸の中の平坦地である、谷底平野は例外的です。新しい時代の細かい堆積物が厚く、



『平塚周辺の微地形分類と過去の災害地点』(博物館)

軟弱地盤も厚いので、液状化に注意が必要です。平野は主に川が作った地形と、海が作った地形に分けられます。川が作った地形はさらに、旧河道・自然堤防・後背湿地に分けられます。比較的地盤が厚く、液状化する可能性が考えられます。大正関東地震では、古水橋付近などで地割れと液状化が起こりました(上写真)。海が作った地形はさらに砂堆と堤間凹地に分けられますが、いずれも軟弱地盤が薄い地形です。液状化が起こりやすいと言っているのは、あくまでも自然状態の話です。地盤改良を行った場合、液状化による建物被害の度合いなどは変わってきます。地図上の情報だけを捉えていたらずらに怖がるのではなく、過去の被害を学んで注意を払うことが大切です。

倒壊被害が多発した平塚町



①現在の崇善小学校の前身で、見附台公園の位置にあった平塚尋常高等小学校。校舎は全壊したが、左に写る全国殖産博覧会の褒章授与式会場は原形をとどめている②現在の湘南スターモールと八幡大門通りの交差点東にあった、いとう呉服店。写真左奥に看板が見える③湘南スターモール北側にあった上総屋製麺所から、四つ角を望む④八幡大門通りを南から見たところ。全国殖産博覧会を祝うアーチが奥に見える



写真・地図は博物館提供。地図は震災から2年後の大正14年に作製

平塚では倒壊被害が多発

平塚市域にはどのような被害があったのでしょうか。早田旅人学芸員(左写真)に、関東大震災による平塚の被害の特徴などを聞きました。

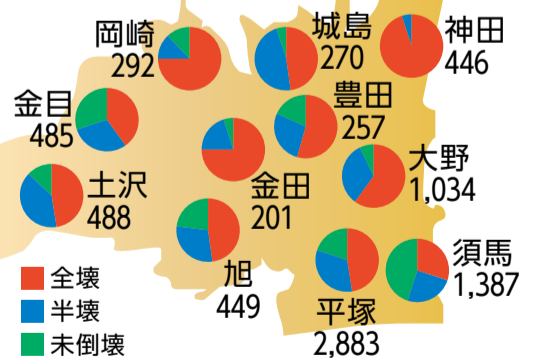
8割の家屋が全半壊

大正12年(1923年)9月1日、平塚は30度前後の蒸し暑い気温となっていました。平塚尋常高等小学校では全国殖産博覧会の褒章授与式が開かれ、八幡大門通りには、博覧会を祝うアーチが飾られていました。午前11時58分、相模湾沖が震源の震度6、マグニチュード7・9の大正関東地震が発生。多くの建物が倒壊しました。

火薬廠の爆発で22棟が焼失

関東大震災と言うと、東京や横浜の大規模な火災被害をイメージする方も多いのではないのでしょうか。平塚市域で記録されているのは、平塚銀行の火災で1戸が焼失、平塚町内で5戸が焼失、大野村のいりりからの火災で1戸が焼失などです。東京や横浜のような、規模の大きい火災は起こっていません。

数字で見る被害



死亡者 476人
全壊数 4,192棟

『大正関東地震による神奈川県内の家屋倒壊率(博物館,2015)』を基に広報課で作成

この地震で、平塚市域の全家屋の約8割が全半壊したと推定されています。写真が多く残るのが平塚町の被害で

す。平塚新宿から平塚本宿にかけて、多くの家屋や店舗が倒壊したのが見て取れます(上地図・写真)。人的被害は当時の人口の1・7割程で、死亡476人、負傷232人、行方不明4人が記録されています。

河床が上がり 地震はまちだけでなく、川にも影響を与えました。関東大震災で丹沢の山が崩れたため、玉川では大雨のたびに土砂が流れ込むようになり、河床が上がってしまいました。その結果、洪水の被害が頻発。昭和14年に、玉川の流路を変更して相模川に流す工事計画が、県から発表されました。

当日に平塚で地震に遭った人たちの体験談

平塚小学校で当時教頭をしていた、守屋宣英さん
水平動なんか感じなかったね。いきなりガチャっときましたね。震源地が近くだから、揺れてきたな、そろそろ逃げようなんて、そんなのんびりしたことはできませんでした。

中原地区で畑作業をしていた、石原由太郎さん
震災の時は9月ですから、ちょうどサツマイモがあるでしょ。食べ物は全然心配いらなかったですね。水が湧くくらい深い地割れがあちこちでできて、ひどかったですよ。



相模紡績工場では市内最多の死者が出たのが、平塚駅南にあった相模紡績工場です。倉庫の一部をわずかに残しただけで、ほとんどの工場が全壊しました。従業員3000人のうち144人が

死亡し、そのうち60人は寄宿舎内で就寝中に圧死したという記録があります。当時の同社社長・白比谷長太郎さんも、平塚駅で全壊した駅舎の下敷きになり亡くなりました。須賀にあった関東紡績工場でも多くの工場が全壊。従業員245人のうち2人が亡くなりました。

(1703年)の元禄地震で、河床が上がったのが原因です。元禄地震は大正関東地震と同じく、相模トラフで起こったとされている地震です。大きな地震が起こるたびに、まちの姿も変わってきたんですね。

『平塚・大磯地域での1923年大正関東地震の体験記録』より抜粋(博物館)

関東大震災で変わった暮らし

民俗学担当 浜野達也館長



かやはトタンに いろいろは火鉢に

震災で多くの家屋が倒壊した一因に、屋根の重さが挙げられます。震災後は重いかやぶき屋根や瓦屋根から、軽い

トタン屋根に変える家が増えていきました。農村部では、震災前は集落で共同のかや場を持ち、集落内のかやぶき屋根を順番にふき替えていました。かや場を持たない集落では、かやを買う費用を皆で工面する「かや講」という仕組みが取られていました。トタン屋根に切り替える家が増えるとかや講の維持が困難になり、多くの集

震災後に水質が悪化した家も

震災後、井戸の出が悪くなったり、酸化鉄の混じった赤い「かなづきのある水」が出るようになったりしました。地震で地下水脈の位置がずれ

たんです。震災後、いろいろから火鉢に切り替える家が徐々に増えていきました。まきを燃やすため火が上がるよりも、炭を使い火が上らない火鉢の方が、火災への安全性が比較的高いためと見られます。トタン屋根で虫を燻して追い払う必要がなくなったことや、かやぶき屋根より煙を逃しにくい構造的な理由も、火鉢の普及に影響したようです。

復興需要で砂利採取が盛況

1面上の震災当時の写真を見ると、手前に広がる河川敷の左上から右斜め下にかけて、細かいレールと、宮代とい



相模川河口の砂利採取船と帆船。昭和7年(1932年)。渡辺廉太郎さん寄贈。

9月第1金曜日号では、市の地震対策を特集します。

う文字の入ったトロッコが見とれます。これは、相模川で採取した砂利を平塚駅の貨車まで運搬するためのレールとトロッコです。相模川では、大正時代初期から砂利が採取されてきました。大正10年に茅ヶ崎―寒川間で開業した相模線は、元々は相模川で採取した砂利を運ぶための路線

だったんですよ。震災前はじよれんという道具で手掘りしていた採取作業が、震災後は機械に変わっていきます。相模川でも機械船での砂利採取(左上写真)が盛んになりました。復興のため東京や横浜で鉄筋コンクリートの建物が増え、骨材として砂利の需要が急増したのです。砂利採取は、高度経済成長期の頃まで続きました。しかし、相模川では橋の基礎が露出するほど乱掘され、河床も大幅に下がってしまいました。東京オリンピックを控えた昭和39年、砂利の採取は全面的に禁止されました。

募集

応募方法は下段

図書館活用講座 図書館生活はじめの一步

図書館ウェブの活用方法や電子図書館の使い方などを体験します。

9月16日(土)午後2時〜3時。中央図書館。市内在住・在勤・在学中図書館の利用者登録をしている方10人(先着順)。

電話または直接、8月18日(金)午前9時から、中央図書館 ☎31-0415 へ。

馬入ふれあい公園 健康づくり教室

体を動かして運動不足を解消しませんか。

9月21日(木)午後1時30

谷戸で稲刈り体験

時・午後1時・2時・3時(各回50分)。勤労会館。15〜49歳の仕事を探している方または家族、各回3人(先着順)。

電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115 へ。

就活応援相談

自分らしい働き方のサポートを支援します。就労支援のプロに相談しませんか。

8月22日・29日、9月5日・12日の火曜日、午前10時〜11

市民活動の助成金申請講座

助成金活動事例や市の補助金などを説明します。

9月16日(土)午後2時〜4時30分。市民活動センター。市民活動団体・NPO法人の方20人(先着順)。

防災座談会を開きます

マンションに住んでいる方が取り組むべき災害対策などを考えてみませんか。

9月30日(土)午後2時〜、

事業承継の個別相談会

中小企業の事業承継で生じるさまざまな悩みを相談しませんか。持ち物など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

毎月第1水曜日、午前9時30分〜午後4時30分。本館5階産業振興課。市内の中小企業。先着順。

必要事項を、電話・メールまたは直接、本館5階の産業振興課 ☎21-9758 へ。sa-nyo@s-a.net

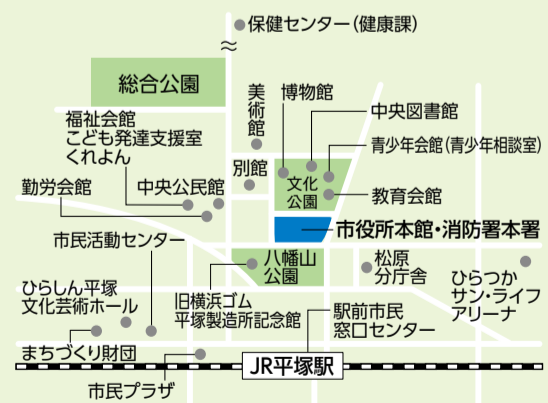
代表者の必要事項・全員の氏名(ふりがな)・生年月日を、はがき・ファクス・メールで、8月25日(金)までに、環境保全課 ☎23-9969 へ。21-9603 k-hozen-av@net

作業のできる服装でお越しください。

代表者の必要事項・全員の氏名(ふりがな)・生年月日を、はがき・ファクス・メールで、8月25日(金)までに、環境保全課 ☎23-9969 へ。21-9603 k-hozen-av@net

応募方法

- 募 応募方法 応募必須 問い合わせ
- e 電子申請システム (e-kanagawa) で応募可
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、8月21日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールでの応募の場合 ☎@以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき	郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項	郵送・ファクス・メール	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
住所 氏名	返信	往信	

